

にいみ なんきち

新美南吉生誕100周年記念展示の紹介

にいみ なんきち

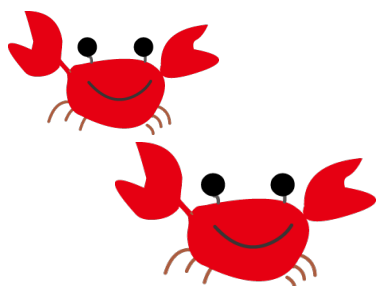
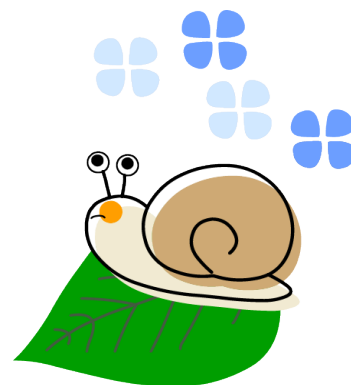
新美南吉の作品は、いろいろな人が絵本やさし絵を描いており、出版されています。同じお話も、絵がちがうだけで別な作品を見ているように感じることもあります。たくさんの本を見くらべてみて、自分が好きな一冊を探してみてください。

オススメ
です！

『でんでんむしのかなしみ』

自分のからの中に、沢山のかなしみがつまっていることに気がついたかたつむりは、仲間たちにそれを話しますが…短いですが、いろいろなことを考えられる、深いお話です。

絵：鈴木 靖将 出版社：新樹社 ラベル：E / デ



『かにのしょうばい』

考えた末に、かにはある商売を始めます。その仕事の内容とは…ちょっととぼけた登場人物たちのやり取りが、笑いを誘います。

絵：山口 マオ 出版社：鈴木出版 ラベル：E / カ

『新美南吉童話選集 1～5』

生誕100年を記念して、新美南吉の代表作や、埋もれた名作を収めた童話集です。よく知られた作品だけでなく、ほかの新見南吉の童話もたくさん読むことができます。

この機会にぜひ読んでみてほしい一冊です。

出版社：ポプラ社 ラベル：F / ニ

新美南吉の本の中には、書庫にあるものもあります。
本棚にないときは、お気軽にカウンターへ声をかけてください。

こどもとしゃかん 7月特別展示コーナー

『新美南吉 生誕100周年記念展示』

タイトル	著者名	出版社	出版年
ごんぎつね	新美 南吉 作 黒井 健 絵	偕成社	1986
<p>兵十が病気の母親のためにとつたうなぎを、ふとしたいはずら心から逃がしてしまったきつねのごん。ごんのせめてものつぐないは、兵十に伝わらぬまま…。教科書にも載っている、有名なお話です。</p>			
てぶくろをかいに (講談社のおはなし絵本館8)	新美 南吉 作 柿本 幸造 絵	講談社	1990
<p>冷たい雪でぼたん色になった子ぎつねの手を見て、母さんぎつねは手袋を買ってあげたいと思います。子ぎつねはひとりで町へ手袋を買いに行くこととなりますが…。親子の愛情に胸があたたかくなります。</p>			
新美南吉童話選集 1～5	新美 南吉 作	ポプラ社	2013
<p>生誕100年を記念して、新美南吉の代表作や埋もれた名作を収めた童話集です。よく知られた作品だけでなく、ほかの新見南吉の童話もたくさん読むことができるため、この機会にぜひ読んでみてほしい一冊です。</p>			
でんでんむしのかなしみ	新美 南吉 作 かみや しん 絵	大日本図書	1999
<p>かなしみについて考える、でんでんむしの台詞が印象的な「でんでんむしのかなしみ」のほか、「里の春、山の春」「木の祭り」「でんでんむし」を収録しています。</p>			
くじらのしま	新美 南吉 作 堀尾 青史 脚本 穂積 肇 画	童心社	1989
<p>新美南吉の詩をもとにして作られた紙芝居です。まずしい島の人々にとって、くじらを捕まえることは、半年間困ることが無く生活をしていける、大切なチャンスでした。漁をする人間の親子と、くじらの親子、二組の家族の物語です。</p>			
かにのしょうばい	新美 南吉 作 山口 マオ 絵	鈴木出版	2012
<p>いろいろ考えて、かには床屋を始めました。けれど、ひとりもお客さんがやってきません。かにはお客さんを探しに行きますが…。かにはの床屋さんは、うまくいくのでしょうか？</p>			
少年少女日本文学館 15	新美 南吉 作	講談社	1986
<p>「ごんぎつね」や「手袋を買いに」のほか、「赤い蠟燭」「ごんごろ鐘」「おじいさんのランプ」「牛をつないだ樫の木」「花のき村と盗人たち」などが収録されています。新美南吉のよく知られている話を、一度に読むことができます。</p>			
<ごんぎつね>をつくった新美南吉	かつお きんや 著	ゆまに書房	1998
<p>「ごんぎつね」をはじめ、今もお多くの子どもに読みつがれ、心に留まる美しい作品を残した新美南吉。短すぎた彼の生涯を、作品に彩らせながら余すところなく綴った一冊です。すてきな作品をたくさん生み出した新美南吉がどんな人だったのか、知りたい方におすすめです。</p>			